

技術士業務研究会／2023年（令和5年）1月度例会

☆開催日時：2023年（令和5年）1月13日（金） 19:00～21:30

☆開催場所：ZOOM を使った Web 例会につき、各自の PC 等でご参加願います

・開会挨拶（19:00～19:05） 部長 細谷 陽三（金属）

・講演 1 （19:05～20:10）（講演 50 分、質疑応答 15 分）
『低炭素社会における水素エネルギー利用』

技術士（機械部門） 西田 幸一 氏

【概要】

地球規模での温暖化・気候変動対策として、各国で低炭素・脱炭素社会の実現を目指して目標を掲げており、日本でも 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を宣言しています。CO₂ の排出源としては、現在化石燃料を主に使用している発電設備が全体の約 40% と最も排出が多いのが実情です。しかしその発電設備の中では、天然ガスを使用した高効率のガスタービン複合発電は CO₂ 排出量が最も低く、大きく低炭素社会に貢献しています。

一方で、将来の脱炭素社会の実現のためには、化石燃料からの脱却が必須であり、その手段の一つとして燃やした時に CO₂ の排出がゼロである水素の利用が有用と考えています。この講演では、“低炭素社会における水素エネルギー利用” と銘打ち、水素燃料適用に向けた発電用ガスタービンの開発状況につき紹介します。

・講演 2 （20:15～21:20）（講演 50 分、質疑応答 15 分）

『無菌充填システムが変えたペットボトル市場の産業組織論的分析 廃棄物問題を背景にして』
技術士（経営工学道部門） 小林 光 氏

【概要】

日本は高度経済成長のもとで大量生産・大量消費・大量廃棄が問題となった。1997 年に小型ペットボトルの使用が解禁され、ペットボトルの使用量が増加し社会的問題となった。飲料メーカー各社は「社会的責任(CSR)」をアピールするためにペットボトルのインラインブロー成型無菌充填システムを導入しペットボトルの軽量化とトラックの輸送費の削減に成功した。

・業務研究会連絡事項（21:20～21:30）

☆Zoom による Web 例会参加方法

①「Zoom」アプリをインストールしているカメラ・マイク・スピーカ付の PC またはスマホ・タブレットをご準備ください。

②参加者に事前に送付する招待メールにある「長い URL」をクリックすれば、会議に参加できます。

◇講演会参加費 技術士業務研究会会員：無料 技術士業務研究会非会員：500 円
近畿本部パスポート保持者：無料
(日本技術士会近畿本部合格者祝賀会に参加された新合格者に配布)

例会後に請求書（振込先・振込方法を記載）を送付いたします。
支払期限：月末 振込手数料：自己負担

◇申 込 下記 HP からお申し込み下さい。メールでの申し込み不可。
業務研 HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>

【講師経歴】

西田 幸一（にしだ こういち）

<職歴>

三菱重工業株式会社 高砂製作所 タービン技術部 ガスタービン設計課 入社
→入社当時は発電用大型ガスタービンの計画業務（含む燃焼器設計・開発）に従事する。
その後、ガスタービン設計課が各要素ごとに分かれ、ガスタービン燃焼器グループに所属し、
燃焼器の開発・設計に注力。

（現職） 高砂サービス技術部 GTCCサービス計画グループ

→既設の発電用ガスタービンプラントへの水素燃料適用に向けた計画業務に従事する。

<専門分野>

ガスタービン、特に燃焼器関係

<所属学協会>

日本技術士会、日本燃焼学会

<資格>

技術士(機械部門)、エネルギー管理士

<趣味>

釣り、音楽鑑賞

小林 光（こばやし あきら）

<職歴>

大塚化学(株)食品研究所入社 大塚食品(株)へ移籍

研究・食品製造の技術職（レトルト食品・ペットボトル飲料・粉末食品・無菌紙パック飲料など）

2015年～2021年中国上海・山東省・インド（バンガロール）海外駐在

2022年小林技術士事務所開設

一般社団法人日本食品包装協会関西連絡事務所所長

独立行政法人中小企業基盤整備機構四国本部 中小企業アドバイザー（経営支援）

<専門分野>

包装設計・生産マネジメント

<所属学協会>

日本技術士会・技術士包装物流会

<資格>

技術士（経営工学） フォークリフト運転免許

以上